

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

2015年3月から2016年3月までの間に当院で下部消化管内視鏡検査を受け大腸腫瘍に対しCold snare polypectomy (CSP)を受けられた方。Cold snare polypectomyとは通電を用いずにスネアで機械的に大腸ポリープを摘除する手技です。切除方法の不明な方は下記へご相談ください。

### 【研究課題名】

10mm以下の大腸ポリープに対するCold snare polypectomy (CSP)の治療成績の検討

### 【研究の目的・背景】

近年、大腸腺腫の内視鏡的切除は大腸癌の発症率および死亡率低下につながることを示され、予防的な意義が注目されています。また高周波電流を使用しないCold snare polypectomy (CSP)は後出血や穿孔の危険性が低い治療法として欧米では広く普及し、本邦でも注目されています。当院におけるCSPの治療成績を明らかにします。

### 【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2018年4月4日 ～ 2018年5月

### 【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院 消化器内科 三谷年史のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診断名、年齢、性別、治療日、バイタルサイン、採血結果、再発の有無など

【研究代表者】

虎の門病院 消化器内科 布袋屋修

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院 消化器内科 布袋屋修

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2018年5月15日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 消化器内科 三谷年史

電話 03-3588-1111(代表)